

資料編

第3回検討委員会のまとめによる試算	10
必要とされる病院像及び5疾病4事業の対応	11
医師数の設定	16
看護師数の設定	17
その他職員数の設定	18
収支計画の基本設定	19
入院収入の設定	20
外来収入及び室料差額収入の設定	21
職員給与費及び減価償却費の設定	22
施設基準の設定	23
材料費等を民間並みに調達した場合の試算	24

医師数の設定

※ 医師1人あたり患者数は、「平成23年病院経営分析調査報告」より設定。

※ 各科の医師数は病院機能を鑑みて設定。

※ リハビリテーション科の入院患者数は、回復期リハビリテーション病棟の関係で50床に固定。

※ 療養病棟は50床で固定。

※ ②は199床、⑤は280人で固定するため、計算上の想定に基づき比例再配分している。

(単位:人)

新A案 療養型あり	設定 医師数	(参考) 前回 設定 医師数	入院			外来		
			医師1人 当り 患者数 <①>	補正後 患者数 <②>	必要 医師数 ②÷① <③>	医師1人 当り 患者数 ④	補正後 患者数 ⑤	必要 医師数 ⑤÷④ <⑥>
内科	5.5	8.0	10.4	46.8	4.5	15.6	71.6	4.6
小児科	1.5	2.0	1.7	2.1	1.2	14.9	18.6	1.2
外科	3.5	4.0	6.1	17.5	2.9	7.6	22.2	2.9
整形外科	2.0	3.0	11.2	18.3	1.6	26.0	43.4	1.7
産婦人科	2.0	2.0	3.7	6.1	1.6	12.3	20.5	1.7
眼科	1.5	1.0	2.3	2.8	1.2	26.6	33.3	1.3
リハビリテーション科	2.0	3.0	15.0	50.0	3.3	16.5	27.5	1.7
泌尿器科及び人工透析	1.5	2.0	4.0	4.9	1.2	17.0	21.3	1.3
耳鼻咽喉科	1.0	1.0	0.7	0.6	0.9	25.9	21.6	0.8
療養病棟	—	—		50.0				
合計	20.5	26.0		199.0	18.5		280.0	17.1

(単位:人)

新B案 療養型なし	設定 医師数	(参考) 前回 設定 医師数	入院			外来		
			医師1人 当り 患者数 <①>	補正後 患者数 <②>	必要 医師数 ②÷① <③>	医師1人 当り 患者数 ④	補正後 患者数 ⑤	必要 医師数 ⑤÷④ <⑥>
内科	8.0	8.0	10.4	73.7	7.1	15.6	83.3	5.3
小児科	2.0	2.0	1.7	3.0	1.8	14.9	19.9	1.3
外科	5.0	4.0	6.1	27.0	4.4	7.6	25.4	3.3
整形外科	3.0	3.0	11.2	29.8	2.7	26.0	52.1	2.0
産婦人科	2.0	2.0	3.7	6.6	1.8	12.3	16.4	1.3
眼科	1.5	1.0	2.3	3.1	1.3	26.6	26.6	1.0
リハビリテーション科	2.0	3.0	15.0	50.0	3.3	16.5	22.0	1.3
泌尿器科及び人工透析	1.5	2.0	4.0	5.3	1.3	17.0	17.0	1.0
耳鼻咽喉科	1.0	1.0	0.7	0.6	0.9	25.9	17.3	0.7
療養病棟	—	—						
合計	26.0	26.0		199.0	24.6		280.0	17.4

注; 合計額など端数処理の関係で計算が合わないことがあります。

看護師数の設定

*2 (*3)と(*4)の多い数値を採用

*3 配置基準考慮…病床数×利用率÷配置基準×3×365日÷230日(切上げ)で算出

*4 夜勤対応考慮…(夜勤に必要な配置数)(準夜勤+夜勤)×8時間×30日÷72時間(切上げ)で算出

新A案(療養型あり)… 123人

部門	病床数 (床)	管理職員 (人)	看護師数 *2 (人)	配置基準	病床利用率 (%)	1日当 必要 配置数 (人)	勤務時間帯別配置数					配置基準考慮 *3 (人)	夜勤対応考慮 *4 (人)
							日勤 (人)	準夜勤 (人)	深夜勤 (人)	深夜勤 後待機 (人)	合計 (人)		
看護部長・副部長	-	2	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
回復期リハ	50	1	16	13:1	85	10.0	6.0	2.0	2.0	2.0	12.0	16.0	14.0
一般病床	50	1	29	7:1	85	19.0	13.0	3.0	3.0	3.0	22.0	29.0	20.0
一般病床	49	1	29	7:1	85	18.0	12.0	3.0	3.0	3.0	21.0	29.0	20.0
療養病棟	50	1	12	20:1	95	8.0	6.0	1.0	1.0	1.0	12.0	12.0	7.0
外来部門	-	1	14	法基準20:1で配置									
手術部門	-	1	5	手術室1室あたり2.5名、手術室2室と仮定									
内視鏡部門	-		2	内視鏡室1室あたり1人配置(内視鏡室2室を想定)									
透析部門	-		5	看護師1人あたり患者3人とし、ベッド数15ベッドと想定									
化学療法部門	-		3	看護師1人あたり患者4人とし、ベッド数12ベッドと想定									

看護師総数	-	8	115	123
-------	---	---	-----	------------

新B案(療養型なし)… 140人

部門	病床数 (床)	管理職員 (人)	看護師数 *2 (人)	配置基準	病床利用率 (%)	1日当 必要 配置数 (人)	勤務時間帯別配置数					配置基準考慮 *3 (人)	夜勤対応考慮 *4 (人)
							日勤 (人)	準夜勤 (人)	深夜勤 (人)	深夜勤 後待機 (人)	合計 (人)		
看護部長・副部長	-	2	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
回復期リハ	50	1	16	13:1	85	10.0	6.0	2.0	2.0	2.0	12.0	16.0	14.0
一般病床	50	1	29	7:1	85	19.0	13.0	3.0	3.0	3.0	22.0	29.0	20.0
一般病床	49	1	29	7:1	85	18.0	12.0	3.0	3.0	3.0	21.0	29.0	20.0
一般病床	50	1	29	7:1	85	19.0	13.0	3.0	3.0	3.0	22.0	29.0	20.0
外来部門	-	1	14	法基準20:1で配置									
手術部門	-	1	5	手術室1室あたり2.5名、手術室2室と仮定									
内視鏡部門	-		2	内視鏡室1室あたり1人配置(内視鏡室2室を想定)									
透析部門	-		5	看護師1人あたり患者3人とし、ベッド数15ベッドと想定									
化学療法部門	-		3	看護師1人あたり患者4人とし、ベッド数12ベッドと想定									

看護師総数	-	8	132	140
-------	---	---	-----	------------

その他職員数の設定

H23年度病院経営実態調査報告データにより設定

新A案(療養型あり)・・・ 128.8人

	最終 設定	100床当り 職員数	199床換算	加算要素
薬剤師	5.8人	2.9人	5.8人	
その他医療技術職員	46.9人	15.3人	30.4人	回復期リハビリテーション病棟の設置によりリハ職員を増員 増加する1日あたりリハビリ単位数＝回復期リハビリテーション病棟の病床数(50床)×病床利用率(85%)×6単位＝255単位 増員が必要となるリハビリスタッフ＝255単位×7日÷108単位(診療報酬で定められているリハ職員の業務量限界)＝16.5人
看護補助者	41.5人	11.3人	22.5人	回復期リハビリテーション病棟の設置により増員(30:1で配置)→7人 療養病棟の設置により増員(20:1で配置)→12人
その他技能労務員	10.3人	5.2人	10.3人	
事務職員	24.3人	12.2人	24.3人	

新B案(療養型なし)・・・ 116.8人

	最終 設定	100床当り 職員数	199床換算	加算要素
薬剤師	5.8人	2.9人	5.8人	
その他医療技術職員	46.9人	15.3人	30.4人	回復期リハビリテーション病棟の設置によりリハ職員を増員 増加する1日あたりリハビリ単位数＝回復期リハビリテーション病棟の病床数(50床)×病床利用率(85%)×6単位＝255単位 増員が必要となるリハビリスタッフ＝255単位×7日÷108単位(診療報酬で定められているリハ職員の業務量限界)＝16.5人
看護補助者	29.5人	11.3人	22.5人	回復期リハビリテーション病棟の設置により増員(30:1で配置)→7人
その他技能労務員	10.3人	5.2人	10.3人	
事務職員	24.3人	12.2人	24.3人	

収支計画の基本設定

(1) 医 業 収 益 (ア)	
入 院 診 療 収 益	「入院収入の設定」(P.20)にて試算
外 来 診 療 収 益	「外来収入及び室料差額収入の設定」(P.21)にて試算
そ の 他 医 業 収 益	
室 料 差 額 収 益	「外来収入及び室料差額収入の設定」(P.21)にて試算
公 衆 衛 生 (健 診 等) 収 益	外来収益比率4.5%設定
そ の 他	(入院+外来)収益比率1.5%設定
(2) 医 業 外 収 益 (イ)	
国 交 付 金	国の交付基準による
一 般 財 源 繰 入 金	一般会計からの繰出金額の積算基準例を参照
そ の 他 医 業 外 収 益	考慮しない
(3) 看 護 師 養 成 事 業 収 益 (ウ)	考慮しない
(1) 医 業 費 用 (エ)	
給 与 費	
給 与 ・ 手 当 ・ 賞 与	「職員給与費及び減価償却費の設定」(P.22)にて試算
非 常 勤 職 員	上記に含む
臨 時 給 与	上記に含む
退 職 給 与 金	医業収益比率2.3%設定
法 定 福 利 費	医業収益比率6.6%設定
材 料 費	
薬 品 費	医業収益比率(A⇒11.3%・B⇒11.7%)設定
診 療 材 料 費	医業収益比率(A⇒6.8%・B⇒7.5%)設定
給 食 材 料 費	診療材料費に含む
医 療 消 耗 備 品	診療材料費に含む
経 費	医業収益比率(A⇒17.0%・B⇒19.9%)設定
報 償 費 ・ 福 利 費 ・ 旅 費 ・ 被 服 費	経費として一括計上
消 耗 品 ・ 消 耗 備 品 費	
光 熱 水 費 ・ 燃 料 費	
委 託 料	
修 繕 費	
賃 借 料	
食 糧 ・ 印 本 ・ 保 険 ・ 通 信 ・ 諸 会 ・ 雑 費	
減 価 償 却 費	「職員給与費及び減価償却費の設定」(P.22)にて試算
既 存 分	想定しない
資 産 減 耗 費	医業収益比率0.1%設定
研 究 研 修 費	医業収益比率0.4%設定
(2) 医 業 外 費 用 (オ)	
企 業 債 利 息	
既 存 (現 病 院) 分	想定しない
新 病 院 関 係 分	施設 30年(5年)1.5% 機器 5年(1年)1.0%～2.0%
雑 損 失 (消 費 税 等)	対「材料費+経費」比率5.0%設定
(3) 看 護 師 養 成 事 業 費 用 (カ)	想定しない
(4) 特 別 損 失 (キ)	想定しない

※平成23年病院経営実態調査報告、100～199床市町村・組合立病院、黒字病院の実績より

入院収入の設定

※ 病床数は、「診療科別患者数の設定」の補正後患者数を採用。

※ 入院診療単価は、平成23年病院経営実態調査報告の平均単価の2割増で設定。(リハ、療養除く)

※ 患者数は、病床数に病床利用率を乗じて算出。

一般、回復病床 (開院時75%、2年目80%、3年目以降85%に病床利用率を設定)

療養病床 (開院時80%、2年目90%、3年目以降95%に病床利用率を設定)

※ 年間入院収入は、診療単価×患者数×年間日数により算出。

新A案 療養型あり	病床数 (床)	診療 単価 (円)	患者数 (人)			年間入院収入 (千円)			
			開院時	2年目	3年目 以降	開院時	2年目	3年目 以降	*閏年
内科	46.8	40,419	35.1	37.4	39.8	517,828	552,350	586,872	588,480
小児科	2.1	53,855	1.5	1.7	1.8	30,444	32,474	34,504	34,598
外科	17.5	51,383	13.1	14.0	14.9	246,157	262,567	278,978	279,742
整形外科	18.3	47,699	13.7	14.6	15.6	238,954	254,884	270,815	271,557
産婦人科	6.1	65,408	4.6	4.9	5.2	109,223	116,505	123,786	124,125
眼科	2.8	78,073	2.1	2.2	2.4	59,843	63,832	67,822	68,008
リハビリテーション科	50.0	34,830	37.5	40.0	42.5	476,736	508,518	540,300	541,781
泌尿器科及び人工透析	4.9	52,381	3.6	3.9	4.1	69,673	74,318	78,963	79,179
耳鼻咽喉科	0.6	53,948	0.5	0.5	0.5	8,861	9,452	10,042	10,070
療養病棟	50.0	18,367	40.0	45.0	47.5	268,158	301,678	318,438	319,310
合計(診療単価は平均)	199.0	36,343	151.8	164.2	174.2	2,025,554	2,176,233	2,310,152	2,316,481

注: 合計額など端数処理の関係で計算が合わないことがあります。

新B案 療養型なし	病床数 (床)	診療 単価 (円)	患者数 (人)			年間入院収入 (千円)			
			開院時	2年目	3年目 以降	開院時	2年目	3年目 以降	*閏年
内科	73.7	40,419	55.3	59.0	62.6	815,468	869,833	924,198	926,730
小児科	3.0	53,855	2.3	2.4	2.6	44,228	47,177	50,126	50,263
外科	27.0	51,383	20.3	21.6	23.0	379,785	405,104	430,423	431,602
整形外科	29.8	47,699	22.4	23.8	25.3	389,117	415,058	440,999	442,207
産婦人科	6.6	65,408	5.0	5.3	5.6	118,176	126,054	133,933	134,300
眼科	3.1	78,073	2.3	2.5	2.6	66,255	70,672	75,089	75,294
リハビリテーション科	50.0	34,830	37.5	40.0	42.5	476,736	508,518	540,300	541,781
泌尿器科及び人工透析	5.3	52,381	4.0	4.2	4.5	75,998	81,065	86,131	86,367
耳鼻咽喉科	0.6	53,498	0.5	0.5	0.5	9,371	9,996	10,621	10,650
療養病棟	/	/	/	/	/	/	/	/	/
合計(診療単価は平均)	199.0	43,557	149.4	159.3	169.3	2,372,839	2,531,029	2,689,218	2,696,586

注: 合計額など端数処理の関係で計算が合わないことがあります。

外来収入及び室料差額収入の設定

◎外来収入の設定

- ※ 外来収入は、医療型療養の有無に関わらず同額で設定。
- ※ 患者数は、「診療科別患者数の設定」の補正後患者数を採用。
- ※ 外来診療単価は、平成23年病院経営実態調査報告(100床～199床市町村・組合立病院実績)で設定。
- ※ 年間外来収入は、診療単価×患者数×245日で算出。

共通	患者数	診療単価	年間外来収入
	(人)	(円)	(千円)
内科	71.6	12,204	214,083
小児科	18.6	5,181	23,610
外科	22.2	10,548	57,371
整形外科	43.4	5,689	60,491
産婦人科	20.5	6,008	30,175
眼科	33.3	5,670	46,259
リハビリテーション科	27.5	3,170	21,358
泌尿器科及び人工透析	21.3	17,961	93,729
耳鼻咽喉科	21.6	4,786	25,328
合計	280.0		572,244

◎室料差額収入の設定

- ※ 室料差額収入は、医療型療養の有無に関わらず同額で設定。
- ※ 有料個室数59室(全病床数対29.6%)で設定。
- ※ 病床稼働率85%で算定。
- ※ 年間収入額は、室料差額合計金額×365日で固定(参考;96,100千円)

共通	病室差額料金		差額料金合計
	5,250円	15,750円	
一般病棟	18室	-	80,325円
回復期リハ病棟	14室	-	62,475円
一般病棟	13室	-	58,013円
(一般病棟・療養病棟)	14室	-	62,475円
合計部屋数	59室		263,288円

職員給与費及び減価償却費の設定

◎職員給与費の設定

※ 年収には諸手当・賞与を含み、統計数値に基づき算定。

職員	年収 (千円)	療養型あり		療養型なし	
		職員数 (人)	小計 (千円)	職員数 (人)	小計 (千円)
医師	15,484	20.5	317,422	26	402,584
看護師(准看護師含む)	5,054	123	621,642	140	707,560
薬剤師	5,838	5.8	33,691	5.8	33,691
その他医療技術職員	5,208	46.9	244,500	46.9	244,500
看護補助者	2,898	41.5	120,229	29.5	85,453
その他技能労務員	3,556	10.3	36,797	10.3	36,797
事務職員	4,774	24.3	115,903	24.3	115,903
給与費総計		272	1,490,185	283	1,626,489

注: 合計額など端数処理の関係で計算が合わないことがあります。

◎減価償却費の設定

※ 定額法により償却

項目	法定 耐用年数 (年)	取得額 (千円)	減価償却 対象額 (千円)	1年当り 減価償却額 (千円)
建物(本体)	39	2,417,850	2,417,850	62,864
建物(設備)	15	1,410,413	1,410,413	94,498
外構・駐車場	10	402,975	402,975	40,298
医療機器(初期投資)	6	1,000,000	1,000,000	167,000
システム(初期投資)	4	350,000	350,000	87,500
医療機器(2年度更新)	6	168,800	168,800	28,190
医療機器(3年度更新)	6	111,100	111,100	18,554

施設基準の設定（再掲）

No	所在地	病床数	敷地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	建築費 (千円)	1床当り		1㎡当り
							面積 (㎡)	費用 (千円)	費用 (千円)
1	滋賀県	130	15,763	3,142	6,292	2,870,000	48.4	22,077	456
2	宮城県	100	21,267	3,473	8,026	3,480,771	80.3	34,808	434
3	秋田県	120	14,950	5,260	5,857	2,140,900	48.8	17,841	366
4	秋田県	168	18,389	4,631	10,734	2,752,547	63.9	16,384	256
5	静岡県	140	19,618	4,953	9,142	3,316,000	65.3	23,686	363
6	熊本県	100	9,630	2,538	5,328	1,693,300	53.3	16,933	318
7	秋田県	180	8,557	4,475	10,936	4,322,881	60.8	24,016	395
8	石川県	100	11,456	4,106	7,374	2,712,300	73.7	27,123	368
9	滋賀県	164	12,312	4,701	14,937	3,783,876	91.1	23,072	253
11	山口県	115	19,576	4,278	8,290	2,977,000	72.1	25,887	359
12	宮崎県	120	22,448	3,515	8,084	2,935,890	67.4	24,466	363
13	鹿児島県	187	6,834	6,834	13,675	7,240,000	73.1	38,717	529
14	熊本県	150	22,626	5,033	10,506	2,951,500	70.0	19,677	281
15	熊本県	141	14,111	4,820	10,564	3,322,725	74.9	23,565	315
16	宮崎県	120	19,333	4,384	8,863	2,333,000	73.9	19,442	263
17	宮城県	120	21,152	6,140	8,581	2,857,000	71.5	23,808	333
18	神奈川県	136	13,757	3,011	9,179	3,020,000	67.5	22,206	329
19	鳥取県	198	15,675	6,011	15,633	4,123,000	79.0	20,823	264
20	岡山県	105	15,122	5,610	9,830	2,744,579	93.6	26,139	279
21	北海道	120	15,100	4,519	8,799	3,614,900	73.3	30,124	411
22	高知県	150	11,087	4,101	13,633	4,246,129	90.9	28,308	311
23	宮崎県	147	19,400	4,864	11,672	3,797,000	79.4	25,830	325

1～23	平均	15,137	4,365	9,389	3,184,143	68	23,258	329
14～23	平均	16,736	4,849	10,726	3,300,983	77	23,992	311

※JIHAデータベースより

※14番以降は、2000年以後に竣工したもの

※「1床あたり費用（面積）」は、建築費（延床面積）を病床数で除したもの

※「1㎡あたり費用」は、建築費を延床面積で除したもの